

こんばちは三原じゅん子です

N0.15 2010年2月3日

日本共産党 名張市議会議員

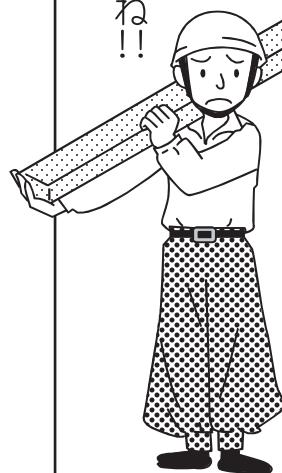
三原じゅん子

すずらん台西4-202

電話 0595-68-3552

生活相談は
お気軽に！

と月がすぎました。みんないががお過ごし
でしようか？昨年は衆議院選挙で政権交替が
されました。新政権は国民の切実な声には
答えられず、混迷を続けています。今年は、
市長選挙と参議院選挙、そして8月には市議会
議員選挙があります。



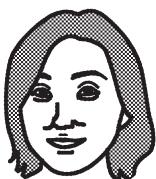
新消防庁舎建設費が減額 建設労働者にしわよせないか

建設労働者の賃金を守る「公契約制度」の実施を！

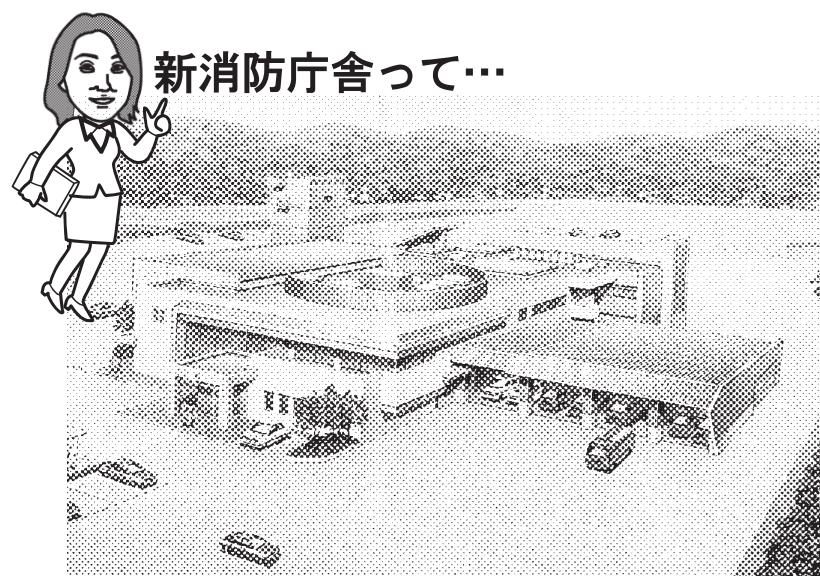
- 入札で新消防庁舎建設予定額が、3億5274万円減額された
- 近年、下請け・孫受けの業者に対する不払いや賃金引下げが多くなっている



毎年、建設労働者組合から労働条件の改善を求める要望があがっている。施工業者に「下請けいじめをしないように」とお願いしている



長引く不況の中で、市内の中小の建設業者は存続が危ぶまれています。お願いだけでは改善しません。公共事業において適切な賃金を払うことを定めた「公契約制度」が、千葉県野田市で実施されました。名張市でも実現するよう、業者のみなさんと力を合わせていきます。また、下請けは市内業者に発注するように指導を求めました。



新消防庁舎は市役所北側に平成22年7月完成予定です。栄町にある現庁舎老朽化のため新設されています。消防施設に併せ、体験学習コーナー、研修室など市民が利用できる防災拠点施設が作られます。



台風などの災害情報を市民に迅速に

- 伊賀市ではホームページで随時報告しているが、名張市では行っていない。
道路の通行や河川の氾濫、非難誘導など、市民に迅速に知らせ、災害に備えよ。

名張市のFMなばりの電波を使い、市民にタイムリーな情報を提供していく。同時に従来の拡声器型でも知らせていく。ホームページの配信も行う。



★木造住宅の無料耐震診断（条件があります）

★木造住宅耐震補強工事には
補助金があります（条件があります）

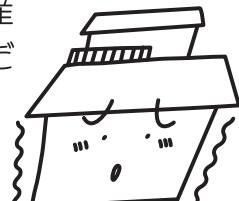
市の窓口は 営繕住宅室です 電話 0595-63-7740

★65才以上の高齢者世帯には
家具の転倒防止器具の
取り付けサービスがあります

市の窓口は 高齢者支援室です 電話 0595-63-7599

● いずれも2009年度の募集は終了していますが、2010年4月以降も募集する予定ですので、市広報でご確認ください。

● 東海地震はいつくるかわかりません。是非この制度を利用して命と財産を守ってください。





伊賀地域の拠点病院構想について

1月22日、「伊賀市・名張市議会地域医療問題研究会」より
拠点病院早期建設の中間提言が
両市長に提出されました

公立病院の現状

全国的な医師不足により、公立病院が自治体で維持できなくなり、縮小・廃止や民間移管がすすんでいます。これは、自公政権時の社会保障の削減政策で、医療費を減少させるため、医師の削減や診療報酬の改定がされたことが大きな原因としてあります。

拠点病院構想とは

医師不足を補うため、名張市立病院・上野市立病院・岡波病院で輪番制にして2次救急を担っています。

しかし平成22年度より上野市立病院の医師が1人減ることにより、維持が難しくなります。そこで、名張市立病院長・上野市立病院長・両市長等で構成されている協議会で、**公立2病院の運営を統合して病院の機能分担(救急と慢性期)をすすめ、将来は拠点病院を設立する**、という構想が出されました。これを受け、両市の議員による研究会で検討を行っています。

拠点病院は救急機能を集約して、医師の労力の軽減を図ると共に、高度な医療ができる施設にして、医師が集まる病院を目指す、と論じられています。

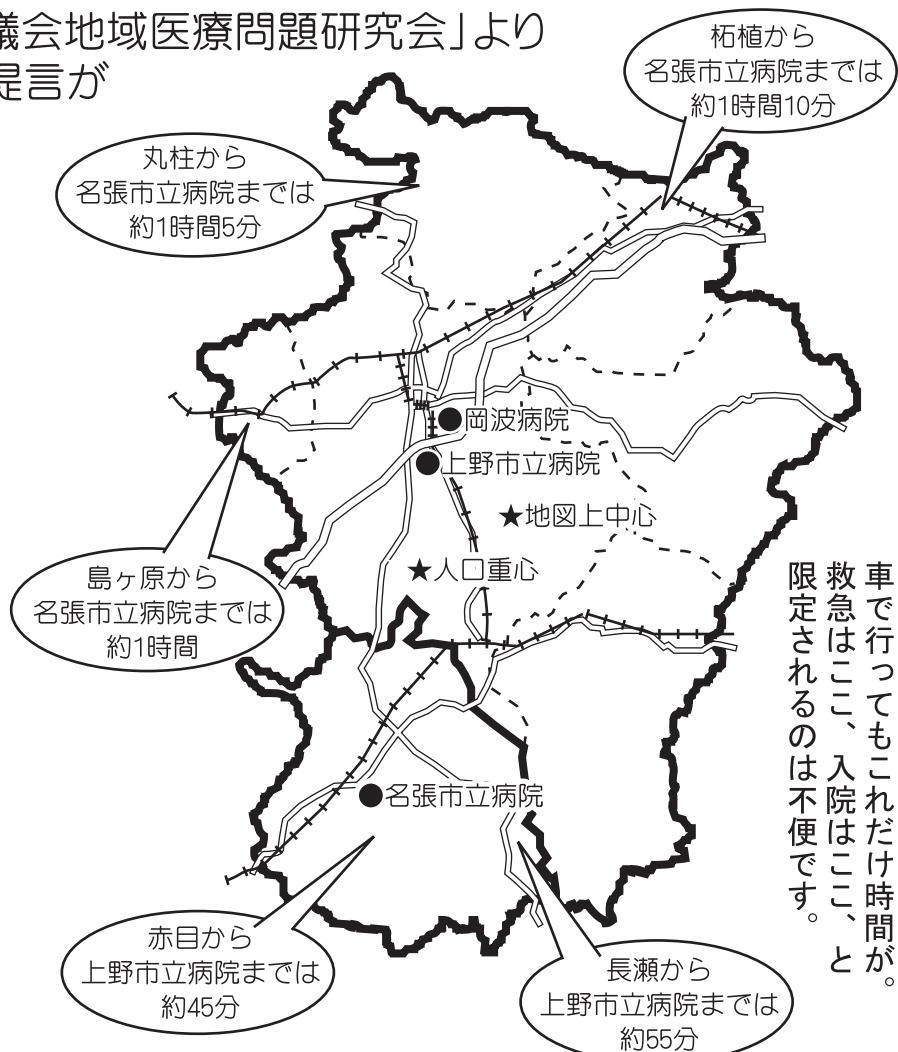
三原の意見 充分な検討を
市民の利便性を考えて

問題点

どちらかの市立病院を救急病院にすると、距離が遠くなる地域が出てきます。また、慢性期(入院)用病院が遠くなってしまっても、家族が通うのに不便になります。

新規に拠点病院を設立した場合、既存の両市立病院をどんな位置づけにするか、医師の数はどうするのか、伊賀医療圏の総ベッド数は県で決められているのでその割り振りをどうするか、等は未定です。

費用の点でも拠点病院を建てるのには100億円近い予算が必要で、この費用の財源は未定です。維持にも多額の費用が必要になります。



市民にとってあるべき姿は

名張・伊賀市民は共に、近くに安心できる病院があることを切実に求めています。公立病院は住民の健康と命を守るために、救急や高度医療などの不採算部門を担うものです。新政権に対して、自治体が公立病院を維持できる政策を求めることが、そして市民・病院・医師・行政が一体となって、市立病院を守る連携を取ることが必要ではないでしょうか？

例えば医師確保のための取り組みや、1次2次のすみわけ等受診のありかたの見直し、開業医との連携で救急の医師の加重負担を減らすなどです。そして、症状が変化しやすいこどもや高齢者は、医療費の無料化により、軽症のうちに受診することで救急への移行を防ぐことができます。

名張市民病院は伊賀で最新の施設に加え、拡張用地を備え職員宿舎や看護学校を併設するなど、名張市民にとって価値の高いものです。伊賀広域の事情もふまえつつ、市民が安心して暮らせる医療体系の充実を求める。

なぜ!? 市民のための2請願が議会で不採択になりました

三原じゅん子は
この請願に賛成しました

小規模修繕等契約希望者登録制度が より良く活用される為の請願

- (・30万円以下の工事を登録した市内業者に発注します)
- (・登録には市税完納が条件です)

- ①市税完納条件への、現行の柔軟な対応を文書化を！
- ②30万以下の条件を、130万以下もしくは50万円以下に増額を！
- ③公共工事の可能な限りの分離発注を！

紹介議員：三原じゅん子 橋本マサ子

阪神淡路大震災
死亡者の83.7%が
家具家屋の転倒倒壊による
圧死・窒息死です

住宅リフォーム助成金制度

創設の請願

業者は収入が
あれば納税できますし
市内で消費もできます

住宅は市民の財産であり、生活の場。災害へのそなえと、社会的弱者の生活を守るために、住宅リフォーム助成金制度創設を請願する

紹介議員：三原じゅん子 橋本マサ子

三原は最終本会議に於いて賛成討論を行いました。反対討論は無かったのに反対多数で不採択になりました。なぜ！？